



芸術の秋を堪能するならコレがお得！市内にある7つの文化施設を周遊できる、共通観覧券「くるりん周遊パス」(上の写真)を、各施設窓口で販売しています。1枚500円で各施設の観覧料合計よりもナンと400円もお得！ぜひご利用ください。文化振興室 ☎(866)2246

たっぷり！ 芸術・文化の秋



千秋美術館(アトリオン内)

開館時間 10:00~18:00

11月3日(土)から「珠玉のフランス近代絵画」展を開催。周遊パスで企画展を観覧の場合、別途観覧料として一般500円(通常800円)、高・大学生400円(通常600円)が必要。



佐竹史料館(千秋公園内)

開館時間 9:00~16:30

秋田藩主佐竹氏に関連した資料を中心に藩政時代の秋田を紹介しています。現在、企画展「絵図と資料でみる秋田藩」展を開催中。



久保田城御隔櫓(千秋公園内)

開館時間 9:00~16:30

市街地が一望できます。佐竹氏の歴史を解説したパネルなどを展示。



赤れんが郷土館(大町三丁目)

開館時間 9:30~16:30

明治の洋風建築・旧秋田銀行本店本館。国の重要文化財。現在、企画展「赤れんが館築100年・石井露月生誕140年記念～露月とその時代」展を開催中。

- ・1施設1人1回限り有効です。
- ・共通観覧券の有効期間は発行日から1年間。
- ・千秋美術館は常設展・コレクション展が対象。
- ・ほかの割引との併用はできません。
- ・再発行、払い戻しはしません。



旧黒澤家住宅(一つ森公園内)

開館時間 9:30~16:30

久保田城下から移築復元された上級武士の建物で国の重要文化財です。



旧金子家住宅(大町一丁目)

開館時間 9:30~16:30

明治20年ころに建てられた呉服・太物卸商の店舗兼住宅。江戸時代後期の伝統的な町家の特徴的な姿を残しています。市指定有形文化財。



民俗芸能伝承館(大町一丁目)

開館時間 9:30~16:30

竿燈をはじめとした秋田の民俗行事や芸能を紹介しています。実際に竿燈に触れることもできます。

日々初心

市長コラム・日々初心

市長●穂積 志



代表取締役の高柳智史さん(右)

10月18日、株式会社タカヤナギから店頭での募金と売り上げの一部50万円を寄附していただきました。寄附金は東日本大震災被災地復興支援に活用します。ありがとうございます。

元気な秋田は食事から 食育推進計画②

紅葉の便りもいつしか里に降りてきて、いよいよ秋も深まってまいりました。春は春で、夏は夏で、という具合に、私は春夏秋冬いつでも秋田の季節感を絶賛しているタイプですが、今ごろの季節もまた大好きです。透明感があってちよつと鋭角的に肌に突き刺さるような冷気に触れ、身の引き締まる緊張感が心地よく、自然に背筋がピンとします。

さて、前回に引き続き、「食」に関して私が常々感じていることをお話します。昨今は季節に関係なく一年中手に入る野菜や果物などの食材が増え、また24時間いつでも、好きなものを食べることができる便利な社会になりました。でも逆にそれによって、食べ物があ

ることのありがたさや農家のみなさんへの敬意、食事を作ってくれる家族に対する感謝の念などが薄れつつあるように思います。

例えば、子どもたちは普段あまり意識せずに与えられたものを食べていることから、食の源である田んぼや畑、そして市場など流通の現場との距離が生じてしまい、

具体的なイメージを描きにくくなっているのではないかと感じています。

そのようなこともあって、現在秋田市では、地元の食材が豊富にそろう秋田市民市場を学習の場として、子どもたちに献立から買い物、調理・盛りつけ、後片付けまでを経験させる取り組みを行っています。

自ら「食」のプロセスを体験することで、秋田の農産物の豊かさや生産・販売に携わる人たちの大変さなど、「食」に関するいろいろな「気づき」がありますし、楽しみもわいてきます。そんな時、子どもたちの目はキラキラ輝いているそうです。また、このような体験を話題に食卓を囲むことで、家族みんなが今一度「食」について考える契機にもなればと思っています。

それでは、3月に策定した「秋田市食育推進計画」の紹介です。言うまでもなく「食」は、私たちが生きていく上で欠かせないものであり、健康に暮らしていくための基本です。計画では「①食を通



秋田市食育推進計画…内容は、市ホームページからもご覧いただけます。
<http://www.city.akita.akita.jp/city/pl/mn/syokuiku/>

じたコミュニケーション②自然の恩恵などへの感謝・環境との調和③地域の食文化への理解④食の安全・安心⑤望ましい食生活」の5つを基本方針に掲げています。また、秋田市の進めている食育関連事業の紹介や各ライフステージに対応した食育、さらに「食育の語源」「孤食と個食」「消費期限と賞味期限」などのコラムも用意しています。この欄で内容を詳しく説明できないのが残念ですが、この計画には他にも役立つ情報が盛りだくさんですので、ぜひ一度ご覧ください。

◆秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。「市長ほっとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>